

川崎市議会議員



# 本間 賢次郎

## ケンジロウ

市政レポート No. 55 (令和4年7月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。  
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17  
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

### 7月のご挨拶



6月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の陽性者数がまた大幅に増加している状況が続いています。引き続き、ワクチンの接種体制の充実と市民の不安軽減に向けた取り組みを行い、ウィズ・コロナの時代に相応しい社会づくりに取り組んで参ります。

また、今年は平年よりも早い梅雨明けとなり、天候不順の心配もなされています。くれぐれも体調にお気をつけてお過ごしください。

### 安心・安全な交通環境の確保に向けて

私は令和4年第3回定例会において、6月28日の本会議にて一般質問を行いましたので、報告致します。今回は「安全・安心な交通環境の確保」をテーマにし、①京急川崎駅前における自転車利用マナー向上の取り組みについて、②JR川崎駅中央東口における点字ブロックの設置位置について、質問を行いました。

京急川崎駅前では、自転車利用者に対し降車し、手押しでの通行にご協力をお願いしていますが、一部の利用者が未だ守らず、時には歩行者との接触トラブルを起こしています。本来は市民一人ひとりのマナーの問題ですが、啓発活動や路上の整備などがさらに必要と考え、建設緑政局長に対応を質しました。これに対し、「通り抜け防止策としてラバーポー



↑ 「歩道押し歩き」の標示を無視し、ラバーポールをすり抜ける自転車利用者 (令和4年4月撮影)

ルを追加設置し、サイン看板や路面標示の充実などの安全対策を進める」と答弁がありました。

次に、JR川崎駅中央東口での点字ブロックの設置位置については、アゼリア地下街と地上階とを結ぶエスカレーター、中央東口自由通路と改札階とを結ぶエスカレーターのそれぞれの乗降口に視覚障害のある白杖利用者の方に注意を促す点字ブロックが設置されていない箇所が多く、統一した整備の必要性を訴えました。建設緑政局長は、「バリアフリー新法の趣旨に基づき、点字ブロックの設置されていないエスカレーターの乗降口の手前に設置に向けて調整をする。地下街のエスカレーターの乗降口についても、点字ブロックの設置について川崎アゼリア株式会社へ要望する」と答弁しました。また、これを契機に点字ブロックの重要性や白杖利用者へのサポートのあり方などの啓発も必要と考え、健康福祉局長に見解を質問し、「市立学校や市内団体向けの周知・啓発を行い、理解促進の取り組みを行っている」旨の答弁と合わせ、今後も私の指摘した内容への理解と今後とも取り組んでいくことの姿勢が示されました。



↑ 建設緑政局長に見解を質す  
本間ケンジロウ

(令和4年6月28日・議場にて)



↑ バリアフリー新法施行前に開業したJR川崎駅の改札階のエスカレーター昇降口の様子

→ 平成23年の再整備によってアゼリア地下街とを結ぶエスカレーターの地上階昇降口には注意を促す点字ブロックが設置された

(いずれも令和4年4月撮影)

通行マナーやハンデを抱えている方へのサポートは、前述のように、一人ひとりの真心、心がけが何よりも重要です。一方で、誰にとっても安全・安心な交通環境を確保していくことが行政には求められるため、今回の質問に至りました。今後も、快適な交通環境を作れるよう、取り組みを続けて参ります。

